

福祉サービス第三者評価基準 (様式2)

【 障害者・児福祉サービス版 】 H29年3月1日改定

評価対象IV

A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
	A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	㉠・b・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の自己決定の尊重やエンパワメントの理念に基づいた個別支援が行われています。支援の一つとして毎月食事メニューを選択できる日が設けられていました。 ・個人の趣味活動等については自由遊びの選択方法として、絵カードを用いてコミュニケーションを図り、利用者が自ら選択できるように工夫されていました。 		
A-1-(2) 権利侵害の防止等		第三者評価結果
	A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	㉠・b・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権侵害防止に関して、どのような時に起こったかなど、チェックリストを用いて確認し、事業所の傾向を踏まえ検討され、プール使用時の更衣の方法やトイレののれんをカーテンに改善するなどの具体的な取組が行われていました。 ・人権侵害防止に関するチェックリストによる確認を年2回実施し、人権侵害の防止と早期発見の取組を行っていました。また、身体拘束については緊急やむを得ない場合の方法が明確に示されており研修会も実施されていますが、身体拘束の事例はありません。 ・虐待などの届出、報告については、虐待防止マニュアルに手順が明確に示されていました。 ・虐待や権利侵害の疑いがある利用者への対応や予防的支援として、排泄支援時に身体をチェックし保護者からの聞き取りを行い、必要時には子ども福祉課や児童相談所と連携し対応されていました。 		

A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	㉠・b・c
	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	㉠・b・c

	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	㉗・b・c
	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	㉗・b・c
	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	㉗・b・c
<p>評価概要</p> <p>①・子どもの心身の状態、生活習慣をアセスメントで把握し自立に配慮した個別支援が行われていました。自立生活のために基本的には見守りを行い、身の回りのことが出来た場合は、賞賛することで動機づけが行われていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活動作等を具体的に図で示して自分でできるように工夫されています。利用相談時には利用までの流れを作成し具体的説明と書類を渡し支援し、また、受給者証の期限が切れる前に家族に声かけを行っていました。 <p>②・発達障害の種類によりコミュニケーションが異なるため個別計画支援の中で個々に応じたコミュニケーションの方法等が示され、絵カードや指カードを提示する等工夫されていました。また、利用者のコミュニケーション能力を高めるためマカドンサインが利用されており、必要に応じてやまびこ医療センターやSTとの連携も図られていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療育活動の中で気になる子どもに対しては、その子が話しやすい先生と個別の時間を設定し話せる機会を設けていました。 <p>③・相談を受けた時は記録し、職員で回覧のうえ、ケース検討会議を行い、クラス調整会議で共有し、個別支援計画に反映していました。</p> <p>④・子どもが選択できる日中活動としてチーム遊びがあり、遊び別にクラス分けを行い実施され、子どもの状況に応じてプログラムの見直しが図られていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況に応じて運動感覚を育てる遊びや日常生活動作の獲得できるような遊び等を工夫し、支援が行われている。また、社会体験については年間計画に基づき、体験前の学習を実施した後、空港や公園等に出かけるなどの社会体験が実施されていました。 ・日課計画案を作成しており、個別の日々の活動の目的を明確にし、クラスに掲示され共有されていました。 <p>⑤・求められる職員の在り方に支援方針が明示されており、子どもの攻撃行動等についての研修が定期的に実施されていました。攻撃性が見られる子どもに対しては環境面に配慮が行われていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別的な配慮が必要な利用者の支援はクラスノートに記録し、OT等の助言を得て対応方法の共有化が行われていました。 ・利用者間の関係調整は状態(原因)に応じてその場で対応し、朝礼で情報共有が図られていました。 		
A-2-(2)	日常的な生活支援	第三者評価結果
	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	㉗・b・c

<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事は保護者に嗜好調査を行い、毎月の食に関する委員会で検討し献立に反映されていました。 ・定時排泄の声かけ・誘導を行い排泄リズムを把握し、連絡帳で保護者との連携が図られていました。 ・バスマニュアルを作成し、送迎時の留意点が示され心身の状況に応じて配慮や支援が行われていました。 ・日常的な生活支援は個別計画書が作成され、日課計画案に実施内容が記録されていました。 		
<p>A-2-(3) 生活環境</p>		<p>第三者評価結果</p>
<p>A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。</p>	<p>㉑・b・c</p>	
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中活動の場は、安全点検簿を作成し毎日点検し安全の確認が行われ、気づいたことが記入され改善・修理が行われていました。 ・事業所全体が清潔で明るい雰囲気であり、床も安全に考慮し、明るい色あいのマットが使用されていました。 ・静養室や空いたスペースを利用し静と動を考えた生活環境の工夫がされていました。 ・生活環境について利用者・保護者の意見をもとに部屋の改修や大人用のトイレと手洗い場の増設等の改善が行われていました。 		
<p>A-2-(4) 機能訓練・生活訓練</p>		<p>第三者評価結果</p>
<p>A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>	<p>a・㉑・c</p>	
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達に偏りが見られる利用者に対して感覚統合の視点での支援が行われていました。 ・療育センターや専門職（ST・CP・OT等）の助言を得て個別支援計画が作成されており、6カ月毎にモニタリングを行い計画・支援の見直しが行われていますが、他職種連携の強化が望まれます。 		
<p>A-2-(5) 健康管理・医療的な支援</p>		<p>第三者評価結果</p>
<p>A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p>	<p>a・㉑・c</p>	
<p>A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。</p>	<p>a・㉑・c</p>	

<p>評価概要</p> <p>①・送迎時に家族より健康状態の聞き取りを行い、体温測定を実施し健康状態を把握し、連絡帳を用いて家族に情報提供も行われていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回看護師の訪問があり、健康相談や健康管理、薬のチェック等が行われ、看護日誌に記録されていました。 <p>②・利用者の体調変化時の対応は、緊急対応マニュアルに定められており、状態把握のツールも作成されています。状態に応じて、かかりつけ医や協力医療機関の受診を行い対応されています。医療機関はスタッフルームに掲示されていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理については研修計画に基づいて研修が行われていました。 ・与薬マニュアルに与薬時の注意事項が示されており、内服が必要な利用者は、与薬依頼書に薬と処方箋の写しを添えて、朝、家族から手渡しで職員が預かり、薬品庫に保管し、保健衛生係が与薬を行っていました。 ・慢性疾患やアレルギーがある利用者については、現在は申出書を提出してもらっていますが、次年度より医師の診断書を提出してもらい適切な支援や対応に反映できるよう計画されていますので、より具体的な取組みが期待されます。 	
<p>A-2-(6) 社会参加, 学習支援</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。</p>	<p>a・ⓑ・c</p>
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援の中で利用者の意向をくみ取り、クラスの状況に応じて年間計画が策定され、社会体験については事前学習を行い、実施されていました。 ・利用者が日々の活動の中で日付や曜日を意識し、日時の感覚を身につけられるように日付や曜日の確認を行っています。遊びの中に課題を取り入れて実施されています。家族の希望に応じて就学前に文字や数が理解できるように学習支援も行われていました。 ・課題別療育では、モニタリングを行い、できる事を一緒にを行い、出来た時に褒める等学習意欲を高めるような支援と工夫が行われていました。 	
<p>A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。</p>	<p>a・ⓑ・c</p>
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来所時や連絡帳を通して、また、モニタリング時にも家族の希望が把握され、他の施設との併行通園ができるように声かけが行われており、必要な社会資源について情報提供も行われていました。 ・保護者に対して就園に関する研修会を行い、地域の関係機関等との連携・協力が行われていました。 	
<p>A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。</p>	<p>a・ⓑ・c</p>

<p>評価外用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行われる父母の会や年4・5回の行事毎に実施される大樹の会等に職員が参加し、家族の意向確認や意見交換が行われていました。 ・連絡帳、親子ふれあい遊び、家族通所、バスの送迎時等を通して家族と連携を図り支援が行われています。家族支援の内容等については個別支援計画を作成し、日課計画案等に実施状況が記録されていました。
--

A-3 発達支援

		第三者評価結果
A-3-(1)	発達支援	
	A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・ ⓑ ・c

<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日課計画案に、利用者個々の目標を設定し支援の方法、目的を記載し各クラスに掲示して、職員間の共有を図り、個別支援を実施しています。 ・活動プログラムは、クラス毎に協議し作成されており、利用者の状況に応じて担当者が行われ、計画の工夫や見直しが行われていました。 ・小学校・保育園・幼稚園の連絡会、鹿児島北ネット合同連絡会に参加し情報の共有、連携・調整が行われていました。 ・こどもの活動プログラムの作成等について他職種との連携は図られていますが、さらなる連携の強化が望まれます。
--

A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1)	就労支援	非該当
	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・b・c
	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a・b・c
	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c

<p>評価概要</p>
